

会 議 録

会 議 名	令和6年度第1回小金井市民交流センター運営協議会		
事 務 局	市民部 コミュニティ文化課		
開 催 日 時	令和6年7月24日(水) 18時30分～20時10分		
開 催 場 所	小金井市民会館 A会議室		
出 席 委 員	福沢政雄副委員長 伊東正示委員 桑谷哲男委員 村越桂子委員 亀田奈美子委員 小林勉委員		
欠 席 委 員	小林真理委員長 遠藤弘委員 中原和樹委員		
事 務 局	小金井市 コミュニティ文化課長 中川法子 コミュニティ文化課係長 津端友佳理 コミュニティ文化課主任 武田麗子		
オブザーバー	市民交流センター指定管理者 1 野村不動産パートナーズ株式会社 施設管理マネージャー 高城拓也 2 サントリーパブリシティサービス株式会社 館長 岡本由紀子 支配人 木村美幸 部長 早川浩史		
傍 聴 の 可 否	可		
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由		傍聴者数	0人
会 議 次 第	(1) 令和5年度事業報告について(報告) (2) 令和6年度事業の状況について (3) 次期指定管理者募集について (4) その他		
会 議 結 果	別紙のとおり		
会 議 要 旨	別紙のとおり		
提 出 資 料	(1) 次第書 (2) 令和5年度小金井市民交流センター事業報告書		

## 1 令和5年度事業報告について

冒頭に指定管理者から、令和5年度事業について報告の後、協議した。

- ・委員から、令和5年度に実施した「にっぽん、体感。－古典芸能の祭典」という新しいシリーズに来たお客さんは、いつも音楽で来られているお客さんとは違うのか。また、違うとすればどんな方々が新しく来られたのかという質問。

→指定管理者から、今までに来られた方と、新しく友の会会員になった方両方いらっしまったという回答。

- ・委員から、新しいお客さんの年齢層は高いかという質問。

→指定管理者から、全体的には60代以上の方が多いが、公演によっては20代・30代の方が多いいものもあったという回答。

- ・委員から、利用者の登録数で市外団体が意外に多い印象だが、地域的にはどこの地域か。また、どのような団体かという質問。

→指定管理者から、国分寺市、小平市、府中市、三鷹市、杉並区などが比較的多い。

また、市民団体で練習や発表会で利用される団体が多いという回答。

→委員から、利用者登録の要件はあるのかという質問。

→指定管理者から、市内登録の場合は市内での活動実績や団体の構成員の半数が市民という要件がある。市外登録は施設をどのように利用されるかを確認し、公序良俗に反するようなことが認められなければ登録可能という回答。

→委員から、団体の構成人数等は特に定めていないのかという質問。

→指定管理者から、個人で利用の場合もあり、団体も人数も異なる。市内登録か市外登録かを判断する際に、構成員の人数を確認することになるという回答。

- ・委員から、コロナ禍の前と後では参加者の関心度や客層の変化はあるかという質問。

→指定管理者から、公演で言えば久しぶりに鑑賞される方や広告を見て新たに来られる方がいるという回答。

- ・委員から、完売の公演が多いが、コロナ禍からのリバウンドの影響なのか他に要因があるのかという質問。

→指定管理者から、リバウンドもあるが、昨年度から広報に力を入れたことも影響

していると思われる。各公演の魅力が伝わるよう、キャッチコピーや広報媒体、広報のタイミング等様々な戦略を練り、工夫を重ねたという回答。

- ・委員から、大ホールと小ホールのモニター企画で夜間の利用促進のヒントは見つかったかという質問。

→指定管理者から、夜間利用をされる方がどのような利用を希望しているかを知ることができた。また、アンケートからもどのような理由で申し込みされるかという傾向が把握できた。令和4年度は1ヶ月前に直前割引を行い、今回は2ヶ月前から行ったが、2ヶ月前の方が利用者にとって予定を組みやすいということが分かったという回答。

→委員から、小金井市は都心に通勤する方が多く、夜間に演奏会等を行うことは難しいのではないかと意見。

→指定管理者から、今回小ホールも割引対象としたが、小ホールであれば本番利用もあったという意見。

- ・委員から、直前割引のようなユニークなアイデアはどのような話し合いで生まれているのかという質問。

→指定管理者から、毎月の休館日に活動についてのPDCAの確認を行ったり、運営、事業広報等各グループで改善点についてアイデアを出し合い、話し合いながら実現できるところからやっていくという方法をとっているという回答。

- ・委員から、チケット料金はどのように考え決めているのかという質問。

→指定管理者から、従来の設定価格をベースに、物価高騰や周辺のホールでの料金、収支なども考慮しつつ決めているという回答。

- ・委員から、受付のコンシェルジュはほぼ女性なのかという質問。

→指定管理者から、募集では性別を限定してはいないが、女性の募集が多く、結果的に採用は女性のみとなっているという回答。

→委員から、受付で大きな声を出すお客さん等の対応が女性だけだと大変ではないかという意見。

- ・委員から、小ホールの床にビニールテープ跡が散見されるが、舞台打ち合わせの

際に注意喚起してもよいのではないかという意見。

→指定管理者から、打ち合わせの際に伝えているが、打ち合わせに来る方と当日準備に関わる方が違うと中々情報が伝わらないという回答。

- ・委員から、中長期修繕計画が指定管理者から出たときに、市としてはどのように対応するのかという質問。

→事務局から、現状は修繕計画の中から優先度の高い修繕を翌年度予算で要求している状況。長期休館が必要な修繕も出てくる時期になるため、市の方でも中長期修繕計画を作成しなければいけないと認識している。喫緊の課題としては、LED化が必要になるため、まずはそれを実施していければという回答。

→委員から、LED化は費用がかなりかかる。国の補助金も視野に入れ、計画的に実行していただきたいという意見。

→委員から、LED化は一度に行うのではなく、部分的に少しずつ毎年行うのが良いのではないかという意見。

→事務局から、集会施設等はこれまでも部分的にLED化を行ってきたが、ホールや学校等の大規模な施設はスケールメリットを出すために一気に実施することを考えているという意見。

- ・委員から、市のほうでどのように修繕を実施していくかという大枠のようなものは設定しているのかという質問。

→事務局から、市では個別施設計画を策定しており、20年で大規模改修、40年で長寿命化というように決めている。ただ、年度単位で細かく設定はしていないため、現在は優先度が高い修繕を毎年実施している状況という回答。

- ・委員から、最近学校側が忙しく授業に集中したいというお話も聞くが、やりにくさはないかという質問。

→指定管理者から、コロナ禍の時は少しあったが、現在は授業時間内に総合学習や体験学習といった形で入れてもらっている。1年に1回校長会でお知らせをさせていただき、希望する学校に対してアウトリーチとして実施をしているという回答。

- ・委員から、収支決算で出た黒字分は残しておくのか、また新たに予算を組んでい

くのかという質問。

→指定管理者から、単年度の決算で行っているため、持ち越さず翌年度は新たに予算を組んでいるという回答。

- ・委員から、市外団体が貸館を利用している割合はどれくらいなのかという質問。

→指定管理者から、概ね4割程という回答。

- ・委員から、キャッシュレス決済を促進することで、ホールとしては人件費削減などのメリットはあるのか。

→指定管理者から、人件費削減には至っていない。施設利用料やチケット購入でキャッシュレス決済を利用される方が多い。利便性やサービスの充実という観点で実施しているという回答。

⇒上記の議論を踏まえ、運営協議会として、次のとおり要望・質問をまとめた。  
(欠席者の意見を含む)

- 1 市民交流センターの事業を含む市の文化振興施策について、市民に評価を求めるべき。
- 2 休館を伴う修繕について、計画的に実施ができるよう中長期修繕計画を定めた方がよい。

## 2 令和6年度事業について

指定管理者から、令和6年度事業の状況について説明した。

## 3 次期指定管理者募集について

事務局から、次期指定管理者募集について報告。

## 4 その他

事務局から、次回の協議会は11月または12月に行うことを連絡。